

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：超音波内視鏡下穿刺吸引法の正診率に影響を与える因子の検討

・目的：超音波内視鏡下穿刺吸引法；Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration (EUS – FNA) は膵腫瘍、スキルス胃癌、消化管粘膜下腫瘍、リンパ節など、様々な腹腔内病変に対する有用な診断法としてすでに認知されてきている。しかし、その正診率は幅広く報告されており、穿刺対象や穿刺経路に見合った最適な穿刺針の選択や、組織採取に必要な穿刺回数など、未だ一定の見解が得られていない点も認める。EUS-FNA の正診率をさらに向上させるため、日常診療の範囲内で行われた EUS-FNA のデータを集積し検討する。合わせて、既報からシステマティックレビューも行う。

・研究期間：IRB承認日～2028年4月30日

・研究対象：2015年1月1日～2025年3月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

(1)： EUS-FNA の正診率、(2)使用された穿刺針、(3)穿刺部位、(4)穿刺対象の最終診断、(5)穿刺経路、(6)合併症率、(7)検査時間、(8)患者背景
穿刺対象の最終診断は手術を行った症例は手術による組織診、手術を行わなかった症例は6カ月以上の臨床経過で行う。最終診断を EUS-FNA で採取された細胞診、組織診からなる EUS-FNA 診断と比較して、EUS-FNA 正診率を算出する。

利用する者の範囲

：

消化器内科	医師	講師	藤田 曜
消化器内科	医師	教授	良沢 昭銘
消化器内科	医師	教授	水出 雅文
消化器内科	医師	准教授	谷坂 優樹

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 講師 藤田 曜